

< 熊本地震復興支援 >

平成 2 9 年度

全国高等学校選抜自転車競技大会



< テクニカルガイド >

Ver.2018-0201

この資料は監督会議・役員打合せで使用しますので印刷してご持参ください。



(公財) 全国高体連自転車競技専門部

1 会 場

(1) 開会式

久留米学園高等学校 東校舎 体育館

〒839-0862 福岡県久留米市野中町 205 TEL : 0942-43-7319

(2) トラック競技

久留米競輪場

〒839-0862 久留米市野中町 2 TEL : 0942-43-3996

(3) ロード競技

あんずの丘 (あんずの丘を基点とした特設ロードレースコース)

〒861-0406 熊本県山鹿市菊鹿町下内田 733 TEL : 0968-48-3100

(4) 閉会式

菊鹿公民館

〒861-0406 熊本県山鹿市菊鹿町下内田 165 TEL : 0968-48-3111 (菊鹿市民センター)

2 ライセンスコントロール (受付)

(1) 選手・監督受付

日時 : 平成30年3月22日 (木) 8:00~8:50

場所 : 久留米学園高等学校 東校舎 体育館

〒839-0862 福岡県久留米市野中町 205 TEL : 0942-43-7319

- ア 各学校の監督は上記の時間帯・場所に選手の競技者ライセンスを持参し提出すること。
- イ ライセンスは配布されたIDカードに入れ、会場では携行すること。
- ウ 選手変更・欠場申請書、引率責任者・監督・チームサポート変更申請書、プログラム記載事項訂正申請書、その他申請書類は全国高体連自転車専門部HPからダウンロードし、選手受付時に提出すること。
また、大会期間中に欠場が生じる場合は、速やかに総務委員長に提出すること。
- エ 身体形態上の理由による適用免除の事前申請はしなくてよい。
- オ ロード競技のみに出場する学校も、選手受付・監督会議に出席すること。

(2) 配付物

- ア IDカード 選手のほか2名まで(引率責任者・監督・チームサポート)発行する。
- イ プログラム 各校2部
- ウ ゼッケン
 - 男子 トラック 黒文字×白生地 ロード 黒文字×黄生地
 - 女子 トラック 赤文字×白生地 ロード 赤文字×黄生地
- エ ヘルメットシール (カバー)
 - 男子ロード (シール2枚) 黒文字×黄生地 女子ロード (ヘルメットカバー) 黒文字×黄生地
- オ フレームプレート (ロード)
 - 男子 黒文字×白生地 女子 赤文字×白生地
- カ ロード用計測チップ ※レース終了後、直ちに大会本部まで返却のこと。紛失した場合は、実費請求する。

3 監督会議

日時：平成30年3月22日（木） 9：00～9：50

場所：久留米学園高等学校 東校舎 体育館

その他：監督の出席確認を行う。

4 開会式

日時：平成30年3月22日（木） 10：00～10：50

場所：久留米学園高等学校 東校舎 体育館

服装：都道府県又は学校統一のものとする。大会参加者（正選手）全員参加すること。

その他：体育館内は土足禁止です。シューズを入れる袋を持参すること。

5 表彰式

（1）トラック競技

日時：競技日程参照 ※競技毎の表彰

場所：久留米競輪場 こども広場内 セレモニーエリア

集合：表彰を受ける選手は15分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。

服装：入賞者は登録されたジャージ、入賞校は登録されたジャージまたは学校統一のウェアとする。その他の参加者は各都道府県又は学校統一のものとし、式典にふさわしい容姿で参加すること。

待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。（サンダル、サングラスの着用禁止）

学校対抗総合優勝校は出場選手全員、2位以下は代表1名が出席すること。

表彰式には保護者・応援者も参加することができる。

（2）ロード競技

日時：平成30年3月25日（日） 13：30～

※ロード競技、総合成績の表彰の後、閉会式を行う。

場所：菊鹿公民館

集合：表彰を受ける選手、学校は15分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。

服装：登録されたジャージとする。

待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。（サンダル、サングラスの着用禁止）

学校対抗総合優勝校は出場選手全員、2位以下は代表1名が出席すること。

表彰式には保護者、応援者も参加することができる。

6 閉会式

日時：平成30年3月25日（日） ロード競技、総合成績表彰後

場所：菊鹿公民館

集合：15分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。

服装：入賞者は登録されたジャージ、入賞校は登録されたジャージまたは学校統一のウェアとする。その他の参加者は各都道府県又は学校統一のものとする。

7 会場使用について

(1) トラック競技会場

- ア 大会期間中は、I Dカードの着用を義務づける。立入禁止区域には、絶対に入らないこと。
- イ 正面スタンド及び、スタンド裏については、選手控え場所に限定する。保護者、応援者の立入りを禁止する。
※3/20（火）9：00より開放する。
- ウ 各都道府県単位での区割りは行わないが、お互い譲り合って使用すること。
通行の妨げにならないよう、スタンド裏にフェンスを設置する。外側に自転車の器材、荷物等を置かないこと。
- エ 競輪場内の電源の使用は**厳禁**とする。コンプレッサー使用時の発電機の使用は認める。
- オ 女子の更衣については、競輪場内こども広場前に更衣用テントを設置する。
- カ 競輪場内に張り出すチーム応援横断幕等は、第3コーナー～第4コーナー間のフェンス外側に限定する。
観戦（応援）の妨げにならないよう、フェンス下部のスペースは空けておくこと。また、のぼり旗については、観戦の妨げにならないよう配慮すること。
- キ 自転車保管庫は設置しない。機材は自己責任で管理すること。
平成30年3月20日（火）夕方～24日（土）朝の間は、夜間を含め巡回警備を行うが、紛失等の責任は一切負わない。

(2) ロード競技会場

- ア コースの下見について
宿舎と競技会場間の移動及びロード練習、コース下見等では、交通規則を遵守するとともにヘルメット着用を義務づける。引率責任者、監督は責任を持って指導すること。また、下見中の事故等のトラブルは、当事者同士で解決すること。選手間の接触・落車等による機材の破損についても、レース中の事故と同じ扱いとする。
- イ 下見中、レース中に関わらずゴミの投げ捨て等は**厳禁**とする。
- ウ 保管場所については、特に指定しないので各校の責任で保管すること。
- エ 機材紛失等のトラブルについて大会本部では責任を負わない。

8 駐車場

(1) トラック競技会場

久留米競輪場 第5駐車場 〒839-0862 久留米市野中町2

- ア 駐車証は、ロード会場と共通である。ダッシュボードの見える場所に置いておくこと。
- イ 全国高体連自転車専門部HPの案内図を参照の上、指定駐車場を利用すること。
- ウ 駐車中の事故、盗難等については一切の責任を持たない。

(2) ロード競技会場

あんずの丘（あんずの丘を基点とした特設ロードレースコース）敷地内駐車場

〒861-0406 熊本県山鹿市菊鹿町下内田 733

山鹿市菊鹿あんずの丘多目的体育館グリーンパルス 敷地内駐車場

〒861-0405 熊本県山鹿市菊鹿町下永野 650

山鹿市菊鹿運動広場 グラウンド内

〒861-0406 熊本県山鹿市菊鹿町下内田 165

9 トラック競技公式練習

(1) 練習時間 下記一覧の通り。

3/20,3/21 は、男女の混走を許可するので、注意して走行すること。

3/23,3/24 は、朝の指定練習の設定はない。

3月20日(火)	11:00～11:45	九州ブロック(45分)
	11:50～12:35	関東ブロック(45分)
	12:40～13:25	北信越・近畿ブロック(45分)
	13:30～14:15	北海道・中国・四国ブロック(45分)
	14:20～15:05	東北・東海ブロック(45分)
	15:10～15:55	女子(45分)
3月21日(水)	11:00～11:45	東北・東海ブロック(45分)
	11:50～12:35	九州ブロック(45分)
	12:40～13:25	関東ブロック(45分)
	13:30～14:15	北信越・近畿ブロック(45分)
	14:20～15:05	北海道・中国・四国ブロック(45分)
	15:10～15:55	女子(45分)
3月22日(木)	12:00～12:25	女子 500mTT、2kmIP 出場選手(25分)
	12:30～12:55	男子 3kmIP 出場選手(25分)

(2) 練習の際には、監督またはチームサポートが選手とともに入場すること。

(3) 練習の入退場について

入場はホーム(4C付近)側より、退場はバック側への一方通行とする。

※役員の指示に従って速やかに移動し、走路に入る際はアップシューズとし、指示があるまで乗車禁止とする。

(4) 練習中の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、すべて自己責任とする。

(5) 練習中の事故、仮設物設置の準備等の進捗状況により、公式練習の開始時間が変更となる場合がある。

10 宿泊・昼食弁当・計画輸送

(1) 宿舎での注意事項

ア 貴重品管理は各校の責任とする。

イ 宿舎内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。

ウ 宿舎内は、レーサーシューズでの歩行は禁止する。

エ 宿舎での自転車保管については、宿舎と調整すること。

※宿舎内での自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。

(2) 宿泊、弁当については、名鉄観光サービス(株)ブースを設置する。

弁当については、弁当引換券と交換とし、弁当の空き容器の回収は、14:00までとする。

ア トラック会場

3月20日(火)～25日(日) 11:00～12:30

配布場所：久留米競輪場バックスタンド下 特別観覧席内 名鉄観光サービス(株)特設ブース

イ ロード会場

3月25日(日) 10:00～11:30

配布場所：あんずの丘 大会本部前

※3月24日(土)にあんずの丘での弁当を受取希望のチームは、その旨をエージェントに連絡すること。

(3) 主催者側での計画輸送は行わない。また、宿舎から会場までの所要時間等は、宿泊の案内を参照すること。

1.1 医療機関

(1) 事故等により医療機関へ行く場合は、「健康保険証」(コピー不可)を必ず持参し、関係者が同行すること。

(2) 怪我等で医務室にて受診した際は、医務室に備えている受診表に記入すること。

(3) 医療機関

＜トラック会場＞

聖マリア病院

〒830-8543 久留米市津福本町4-2-2 TEL: 0942-35-3322

＜ロード会場＞

山鹿市民医療センター

〒861-0593 山鹿市山鹿511 TEL: 0968-44-2185

保利病院

〒861-0533 山鹿市古閑984 TEL 0968-43-1212

※宿舎での傷病については、宿泊先にお問い合わせ下さい。受診後は総務委員まで連絡をお願いします。

1.2 荷物輸送について

(1) 荷物を送る場合は、事前に宿舎と調整すること。

(2) 競技会場(ロード・トラック会場共に)での、荷物の受取り、保管等は一切行わない。

(3) 競技終了後の荷送りについては、下記の通り対応する。

＜トラック会場＞

期日：平成30年3月24日(土) 12:00～14:00

場所：競輪場正門前 受付ブース

業者：佐川急便

＜ロード会場＞

期日：平成30年3月25日(日) 12:00～14:00

場所：あんずの丘売店横 受付ブース

業者：佐川急便

(4) 荷物の引き渡しは当事者間で直接行うこと。大会本部で受付及び預かることはしない。

1.3 問合先

(1) 選抜大会に関する情報・連絡事項は「全国高体連自転車専門部HP」にて確認すること。

<http://www.hs-cycling.com/>

(2) 選抜オープニングロードレースに関する情報は下記サイト(SNS)にて確認すること。

■熊本県自転車競技連盟 公式 HP

→ <http://kumamoto-cf.jp/>

■熊本県自転車競技連盟 公式 Facebook

→ <https://www.facebook.com/kumamotocf/>

■熊本県自転車競技連盟 公式 line

→ 右の QR コード



(3) 連絡先

大会本部 全国高等学校選抜自転車競技大会実行委員会事務局 携帯：070-1943-4166（中田）

宿泊関係 名鉄観光サービス（トラック・ロード共通）TEL：096-354-4351（吉田・櫻木・堀川）

14 ■ その他

01 競技運営

(1) 競技規則

(公財) 日本自転車競技連盟競技規則 2017 年版および大会特別規則に則り競技を実施する。

(2) 主要競技役員

競技運営委員長 : 中梶 秀則

総務委員長 : 河田 拓也

コミセールパネル : 馬場 秀朋 (審判長), 高畑 秀規, 寺崎 豪紀, 坂井田 米治, 阿部 貴宏

02 大会特別規則 (競技運営確認事項)

(1) 記録の配信

ア スタートリスト, リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示するので配布しない。

イ すべてのコミュニケは LINE にて配信する。



ウ リザルトは, 大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等詳細は, プログラムに掲載する。

(2) ヘルメット

ア 選手は JCF 公認および JKA 認定 (競輪用) ヘルメットを練習時も含め使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット, 劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。

イ あごひもが緩んでいる状態での使用は認めない。

ウ JCF 公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は, 下記の種目の競技時のみ使用を認める。

①スプリント予選 (200mタイムトライアル) ②男女タイムトライアル

③男女インディヴィデュアル・パーシュート

(3) ヘルメットカバー

ア トラック・レースの ケイリン, ポイント・レース, スクラッチで使用する のでヘルメットカバーを装着することができるヘルメットを準備すること。 **大会特別規則**

イ 上記種目についてはマグネット等で装着するシールドの使用は禁止する。 **大会特別規則**

ウ トラック・レースのヘルメットカバー配付は招集所で行う。回収についてはバック側ギア比チェック場所付近に回収かごを設置する。

エ 女子ロード・レースにヘルメットカバーを使用する。配付・回収とも大会本部で行う。

(4) ボディ・ナンバー (ゼッケン) 装着方法

ア 男女タイムトライアル・男女インディヴィデュアル・パーシュートについては 1 枚でもよい。1 枚の場合は腰部中央に取り付ける。

それ以外の種目については5 cm以上の間隔を空け、後方から読み取れる状態で2枚腰部に付けること。

- イ スプリントは予選から2枚付けること。
- ウ ゼッケンは折り曲げたり切ったりしてはならない。
- エ ロード・レースでは、フレームプレートを右側から確認できるように装着する。
- オ 男子ロード・レースではヘルメット左右の側面に番号シールを装着する。

(5) ギア比制限

U 17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、[ジュニアの数値\(7.93m\)](#)を適用する。大会特別規則

(6) 映像記録装置

[装着を認めない。](#)大会特別規則

03 トラック・レース

(1) 禁止事項

- ア 走路保護のため、アップオイル等を体に塗ることおよびレーサーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- イ 指定された選手村以外での選手ピット設営は禁止する。

(2) 走路入退場方法(選手・監督等)

レース中の入場はホーム側(フィニッシュライン手前)、退場はバック側のそれぞれ専用出入り口とする。
(一方通行)

(3) 招集・自転車検査

- ア 招集・自転車検査所は走路入口に設置し、出走および装備の確認、並びに自転車検査を実施する。
- イ 招集および自転車検査は各自の出走予定時刻の15分前までに完了させること。
- ウ 走路外からインフィールドに入る自転車は、再入場時であっても自転車検査の対象となる。
- エ 競技終了後、指示を受けた競技者は、ギア比検査を受けること。場所は監督会議で指示をする。

(4) スタート方法

- ア スタートに間に合わない場合は、出走することができない。スペアホイールや工具等を必ず準備しておくこと。
- イ 発走機(スターティング・マシーン)使用種目
男女タイムトライアル, 男女インディヴィデュアル・パーシュート
- ウ ホルダー
発走機を使わない種目は、各チームのスタッフがホルダーを務める。その際、選手が有利になることを目的として前方へ押し出さないこと。
- エ ポイント・レースおよびスクラッチ
スタート位置は下図を参考にすること。選手は安全地帯(退避路)で乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置につく。ヘルメットカバー番号奇数の選手がインレーン、偶数の選手がアウトレーンとし、ヘルメットカバーが1番の選手は、インレーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、ピストルの合図で正式スタートとする。



(5) タイムトライアル

欠場者及び機材トラブルなどの理由から同じ組の選手が出走できない場合は、単独発走となる。ただし、同様の選手が複数いる場合は出走番組が変更となる場合もある。

(6) インディヴィデュアル・パースhoot

ア 予選の上位 1・2 位で決勝戦， 3・4 位で 3 - 4 位決定戦を行う。また，予選のタイムにより 5 位以下を決定する。

イ 予選では追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。

(7) ケイリン

ア 競走は周長 4 0 0 m 走路 4 周回で実施する。

イ スタートにおいて競技者はペーサの直後で抽選によって決定された位置を取り、スタート後少なくとも最初の周はペーサの後ろにつかなければならない。

ウ ペーサはスプリンター・ラインの内側を走り，スタート時は 30 km/h，フィニッシュ 2 周前のフィニッシュ・ラインを過ぎてトラックを離れるまでに，徐々に 50 km/h まで加速する。

女子のそれぞれの速度は 25km/h と 45km/h とする。大会特別規則

エ 一人または複数の競技者が，ペーサがフィニッシュ・ラインにおいてトラックを離れる前にペーサの前輪前端を追い抜いた場合，競技を停止し，失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。大会特別規則

オ ペーサがトラックを離れた後は最終スプリント状態とみなすので，各競技者はフィニッシュ・ラインまで各自の走行ラインを保持しなくてはならない。競技規則 6 6 条 1 0 の運用

(8) スクラッチ

男子は予選 6 k m，決勝 8 k m，女子は予選 4 k m，決勝 6 k m で実施する。

(9) ポイント・レース

予選 12 k m，決勝 24 k m で実施する。

(10) 勝ち上がり方法

ア スプリント

予選はタイム上位 1 2 名を勝ち上がりとして選出する。競技順は 1 / 8 決勝， 1 / 8 決勝敗者復活戦， 1 / 4 決勝（以後 5 - 8 位決定戦以外 2 回戦制）， 1 / 2 決勝，順位決定戦とする。

大会特別規則

イ ポイント・レース

各組予選（組数 3）より上位 8 名を選出し，決勝（2 4 名）を行う。

ウ ケイリン

組数・人数，勝ち上がり方法は以下の通りとする。

【男子】1回戦（42名）：6組（7名）上位1名は1/2 決勝へ

1回戦敗者復活戦（36名）：6組（6名）上位1名は1/2 決勝へ

1/2 決勝（12名）：2組（6名）上位3名は1-6 位決定戦へ、下位3名は7-12 位決定戦へ 1-6 位決定戦（6名）・7-12 位決定戦（6名）

【女子】1回戦（28名）：4組（7名）上位2名は1/2 決勝へ

1回戦敗者復活戦（20名）：4組（5名）上位1名は1/2 決勝へ

1/2 決勝（12名）：2組（6名）上位3名は1-6 位決定戦へ、下位3名は7-12 位決定戦へ 1-6 位決定戦（6名）・7-12 位決定戦（6名）

エ スクラッチ

【男子】各組予選（組数5）より上位4名を選出し、決勝（20名）を行う。

【女子】各組予選（組数2）より上位7名を選出し、決勝（14名）を行う。

（11）フィールド内での指示

ア タイムトライアルとインディヴィデュアル・パーシュートについてはスタートライン付近に1名のみ認める。

イ その他の種目についてはバック側インフィールドの指定場所にていずれも選手1名につき1名を認める。

その際には主催者が準備したビブスを着用すること。

04 ロード・レース

（1）計測チップの配布および予備登録選手への変更

ア 日時：3月24日（土） 15：00～16：30

イ 場所：あんずの丘 大会本部テント

（2）招集・自転車検査

ア 日時：3月25日（日） 9：00～ 9：40

イ 場所：あんずの丘 大会本部テント

ウ 要領：招集所で装備の確認と自転車の検査・計測チップの検査と動作テストを受けサイン・シートにフルネームで氏名を記入する。自転車検査を受けた後のポジション変更や調整はしないこと。ギア比チェックは上位完走者を対象にフィニッシュ後実施する。

（3）スタート時刻

男子 10：00 女子 10：05（選手は20分前に待機所整列）

（4）スタート位置

男子は前年度の選抜大会、本年度の全国高校総体・国体の上位入賞選手を、女子は前年度の選抜大会、本年度の都道府県大会の上位入賞選手をシード選手として最前列に位置する。その後方には開催地競技者とし、その他の競技者は3列目以降抽選順とする。

【男子シード選手】①H28年度選抜1名 ②H29年度全国総体4名 ③H29年度国体2名

# 1 伊藤 旭 (九州学院)	# 2 日野泰静 (松山城南)	# 3 日野凌羽 (松山城南)	# 4 道見優太 (南大隅)
# 5 宇佐美颯基 (横浜創学館)	# 6 仮屋和駿 (和歌北)	# 7 児島直樹 (祐誠)	

【女子シード選手】①H28年度選抜3名 ②H29年度都道府県1名

# 2 0 1 石上夢乃 (横浜創学館)	# 2 0 2 成海綾香 (南大隅)	# 2 0 3 中川由理 (川越工)	# 2 0 4 太郎田水桜 (東京)
-------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

(5) 距離およびスタート方式

【男子】 1 1. 1 km×7周回 7 7. 7 km

【女子】 1 1. 1 km×3周回 3 3. 3 km

完全交通規制された周回コースで実施するが、男子はスタート直後、大会運営上の理由により集団をコントロールする場合がある。

(6) 補給所

ア 補給エリア

フィニッシュ地点手前の左側のみ認める。補給エリアの始点および終点は看板により明示する。

イ 補給員数

人数は各学校の参加選手を上限とし、補給員はIDカードを必ず着用のこと。

ウ 飲食物の補給

女子については認めない。男子については、5、6周回目（残り2周、1周直前）とする。

エ 投棄エリア（グリーンゾーン）

補給エリアの前後左側に設定する。

(7) 打ち切り

ア 関門所

フィニッシュ地点に関門所を設置する。

イ 運用

各周回8位選手を含む集団から5分以上遅れた競技者を打ち切りとして除外する。ただし、レースの状況により、相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。

失格となった競技者は、ボディ・ナンバー1枚、計測チップを外し、関門審判員に渡す。

(8) 機材サポートとインフォメーション

ア ニュートラルカー、ニュートラルバイク、インフォメーションバイクを主催者で準備する。台数については監督会議で連絡する。

イ リアホイールはシマノ10速と11速を用意している。計測チップ配布時に10速と11速の申告をすること。

ウ 提供を受けた機材は、招集・自転車検査所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。

(9) 計測チップの返却

ア 日時：3月25日（日）レース終了後

イ 場所：あんずの丘 大会本部テント

ウ その他 計測チップを紛失・破損した場合は実費を請求する。